



我がまちふるさと
枕崎写真展

■ 8月8日から20日までの期間、南浜館で「戦後復興75年のあゆみ～我がまちふるさと枕崎写真展」が開催されました。会場には、昔懐かしい枕崎の写真が数多く展示されました。



枕崎の歴史七不思議
展

■ 8月22日から30日までの期間、「枕崎の歴史七不思議展」が南浜館で開催されました。期間中には、市文化保護審議会委員の牛山好治さんによるミニ講演会も4回開催されました。



新たなオブジェで
カツオのまちをPR

■ 今年枕崎市かつお公社が創立40周年を迎えました。8月31日に創立40周年記念として同社の駐車場にあるカツオのオブジェがリニューアルされ、お披露目されました。



みなとの小さな水族館にレアキャラ登場

■ 9月11日から枕崎お魚センターの「みなとの小さな水族館」に黄色のダルマオコゼが展示されています。このオコゼは、遺伝子の突然変異によって体の色が変化したもので、伊勢エビ漁の網にかかっていたところを捕獲されました。



高齢者の皆さんによる手作りお手玉
～桜山小学校にお手玉を寄贈

9月8日、小規模多機能型居宅介護支援事業所「愛」の皆さんが手作りしたお手玉252個が、桜山小学校に寄贈されました。

桜山小学校では、昨年、4年生を対象に認知症の利用者を招いて「認知症キッズサポーター養成講座」を実施しました。今年も開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年はお手玉の寄贈のみとなりました。



▲寄贈されたお手玉



カツオづくし、枕崎の味を堪能
～武岡小学校の児童が修学旅行でお魚センターを訪問

9月10日、鹿児島市立武岡小学校の6年生の児童56名が修学旅行で枕崎お魚センターを訪れました。

児童は、お魚センター職員によるカツオの解体ショーを見学した後、名物のわら焼きタタキの体験を行いました。その後、2階レストランでカツオのピンタ料理や自分たちで作ったわら焼きタタキを味わい、枕崎の味を堪能しました。



▲昼食のわら焼きタタキ



今年はオンライン・ライブ配信で演奏会
～福岡工業大学吹奏楽団枕崎特別定期演奏会

9月19日、南浜館で福岡工業大学吹奏楽団枕崎特別演奏会のオンライン・ライブ鑑賞会が開催されました。

毎年9月には、枕崎市市民会館で福岡工業大学吹奏楽団の定期演奏会が開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインライブでの開催となりました。

会場には枕崎中学校と桜山中学校の吹奏楽部の生徒21名が招待され、スクリーン越しに演奏を鑑賞しました。演奏会では、枕崎音頭やザ・ドリフターズメドレーなどの曲が約1時間半にわたり演奏されました。

また、演奏会の様子は動画共有サービスYouTubeを通して生配信され、多くの方が演奏を鑑賞しました。



▲ライブ映像の様子



水産高校生が本番を想定し模擬面接
～枕崎ロータリークラブによる模擬面接

8月21日、就職活動に臨む学生を支援しようと、枕崎ロータリークラブによる模擬面接会が鹿児島水産高校で開催され、就職を希望する同校の生徒54名が参加しました。

模擬面接では、ロータリークラブの会員の方が面接官としてさまざまな質問をし、生徒は緊張しながらも一つ一つの質問に答えていきました。

福留和心香さん(情報通信科・3年)は、「今までできていたことができなかったけど、この経験を生かして本番の面接に臨みたい」と話しました。

旬のお便り 地元漁業者応援企画
枕崎で水揚げされる旬の海産物を紹介します！



ゴマサバ

体にある点々のゴマ模様からゴマサバと呼ばれています。年間をとおして味が落ちず、マサバに比べて脂が少ないため、さっぱりとした味が特徴です。

鹿児島県で獲れるサバの多くはゴマサバで、有名なものが屋久島沖で獲れる「首折れサバ」です。首折れサバは、釣り上げた直後のサバの首を折って血抜きをし、鮮度を保ちます。このひと手間によって、身の締まったプリプリとした触感を味わうことができます。また、ゴマ

サバは「サバ節」の原料としても使用され、コクと旨味も兼ね備えています。ゴマサバの調理方法はさまざまで、焼いて塩焼きにしてもよし、煮込んで味噌煮にしてもよしなど、さまざまな味を楽しむことができる魚です。

おすすめ料理
サバの塩焼き

おすすめの調理法は定番の塩焼きです。表面はカリッと、中はふっくらジューシーに焼き上げることで、旨味を逃がさず、美味しく食べることができます。

